

まちづくり委員会 事業計画

まちづくり委員会 委員長 島根 洋明

近年若い世代の都市部流出による定住人口の減少と地域コミュニティの参加メリットの減少により、地域の関係構築が難しい時代へ変化している今、定住人口と地域コミュニティの接点を増やし、地元企業と協力しながら活性化することが求められています。定住人口と企業や団体同士が今までよりも触れ合う時間を増やし、地域全体の魅力発信と活性化を図り、持続的に地域内の接点と、関係人口を増幅させる運動を創出する必要があります。

まずは、様々な地元企業がより多くの情報を取得する機会を提供していくために、より多くの企業や団体の悩みをMITOプラットフォームに集約し、様々な企業のビジネスマッチングを増加させることで、地元企業の悩みはお互いのメリットへ変わり、それぞれの企業の活性化につながります。そして、まちに様々な人たちを呼び込み、地域のつながりをさらに増やすために、地域住民との出会いの場を創出し、地域資源やまちの魅力を発信し関係人口を増やすことで、まち全体が活性化され、地域住民が住みやすいまちに向かい好転していきます。さらに、中心市街地の活性化を図るために、若い世代の現代的な感覚と、地元企業の経験と知識を掛け合わせて新たなビジネスの機会を提供し企業の魅力を伝えることで、地元企業と郷土愛をもった次代を担う人財のつながりが創出され、まちに相乗効果が生まれます。また、まちを活性化させる運動を継続し続けるために、地域の組織と協力し中心市街地の活性化と、お互いの経験と知識を共有し高め合いながら人脈を広げていく仕組みを創出することで、まちは今以上に魅力と活気が溢れるまちへと変わります。

企業や団体と共に地域コミュニティの活性化を推し進め、強靱なつながりが創出されたまちの運動はさらなる魅力と力強さに変わり、人々や地元企業はまちの魅力や力強さに触れている機会は増えていき、それぞれが未来像に向けて成長していく好循環が生まれます。

<事業計画>

1. MITOプラットフォームの活用と運営
2. 地域住民の出会い創出事業の開催
3. 若い世代の経営体験事業の開催
4. 地元組織との協力コミュニティの構築